



# 分業化やダブルキャスト制の推進、 情報共有で働きやすい環境へ。

研冷工業(株)  
代表取締役 酒井 巳喜雄 さん

こんな取組を  
推進しています!

## 1 ICTを活用し 業務を効率化

本社と作業所、お互いの状況を把握し、コミュニケーションを促進

## 2 ホームページで 取組をアピール

福利厚生や働きやすい職場への取組を社内外に周知し、意識改革を図る

## 3 社長と社員が 一対一で面談

率直な意見交換により、経営側と社員が共によりよい職場環境を目指す

10年以上前から3D(三次元)CADを導入し、作図などの時間を短縮してきました。建設業は現場での作業が多く、労働時間は自己申告になりがちで、一人で抱え込むことがよくあります。そこで2018年から工事を補助する庶務係を設け、書類作業などを分担して分業化を進めています。繁忙期とそうでない時の差が激しい業種ですが、特に繁忙期には分業化で仕事の質もより高められるようになりました。

仕事はダブルキャスト制を推進しています。自身が病気の時、子どもが病気の時や学校行事などの場合は休まなければなりません、周囲とコミュニケーションを取り、支えています。

今後は分業化が働き方改革のポイントになってくるでしょう。それには全社の情報共有が必須。当社ではクラウド型専用ソフトを導入し、スケジュールなど情報を一元化しています。業務の流れがシステム統一され、情報を共有化することで効率化も図れます。今後は、外注業者との情報共有にも注力し、サービス向上につなげていきたいですね。

全社員に育児・介護休業等度の周知を図り、男女とも連続2週間以上の育児休業取得を推奨しています。また2年ほど前から年1回のバースデー休暇を設けました。有給休暇取得のきっかけになっています。

今年3月にはホームページを一新し、社外にも働き方改革の取組をアピールしていくつもりです。働きやすく、やりがいの持てる会社の一員として、プライドを持って仕事をしてほしいですね。また社員が健康でないとよい仕事はできないという思いから、健康対策には力を入れています。厚生労働省の委託事業である「平成30年度がん対策推進パートナー賞【検診部門】」を受賞することができました。

働き方は経営陣から意識を変えていかななくてはなりません。当社ではボーナス時の人事考課と自己評価について、社長である私と社員が一対一で話す機会をつくりました。率直な意見を取り入れ、今後も働きやすく、社員が「定年まで働いてよかった」「自分の子どもも入社させたい」と思えるような職場を全社一丸で目指していきます。



## 早めに申請し、事前に十分準備して 3カ月間の育児休業を取得。

イクメン社員  
本間 薫さん(33歳)

建設現場の作業工程管理や安全確保、発注者との交渉などを行う「現場代理人」をしています。2018年4月に次女が生まれてから3カ月間、育児休業を取得しました。次女の出産は長女の入園にも重なりますので、妊娠中の妻から希望されたことが取得のきっかけです。早めに申請し、休業中の段取りも組んで休業に入りました。

出産で妻が入院中は、長女と二人きりの生活。幼稚園の送迎はもちろん、家事一般も全てやりました。妻が次女と退院してきた後は、二人で家事や育児を分担。次女の寝かしつけに苦労しましたね。授乳する妻と二人、夜間は2時間ごとに起きていました。

休みの間も、必要な時は電話などで会社と連絡合っていましたので、スムーズに仕事復帰できました。今も幼稚園行事などの時は、仕事の状況を見て、有給休暇を取得して、休める場合は休んでいます。ダブルキャスト制を推進していこうと取組をしている風通しのいい会社ですので、男性も育児休業が取りやすいです。

**KENREI**  
研冷工業株式会社

●所在地:新潟市 ●業種:建設業 ●従業員:32人

【業務内容】1973年創業以来、「地域の快適な環境づくり」をモットーに、省エネ提案、空調調和設備・給排水衛生設備・冷凍冷蔵設備の設計施工、保守メンテナンスの専門業者として歩む。



## 私たちはイクメン応援宣言企業です!

新潟県では、男性労働者が育児に参加しやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を「イクメン応援宣言企業」として登録しています。

もっと詳しく知りたい方は

にいがたイクメン応援宣言

<https://niigata-ikumen.jp>